

前橋問屋センター ニュース

編集▶広報特別委員会 発行▶協同組合前橋問屋センター

No.292

平成30年11月1日

2018

M A E B A S H I T O N Y A C E N T E R N E W S



撮影 原沢商事(株) 原澤康隆氏

～ 水面に映える草紅葉 ～

赤城山 覚満淵



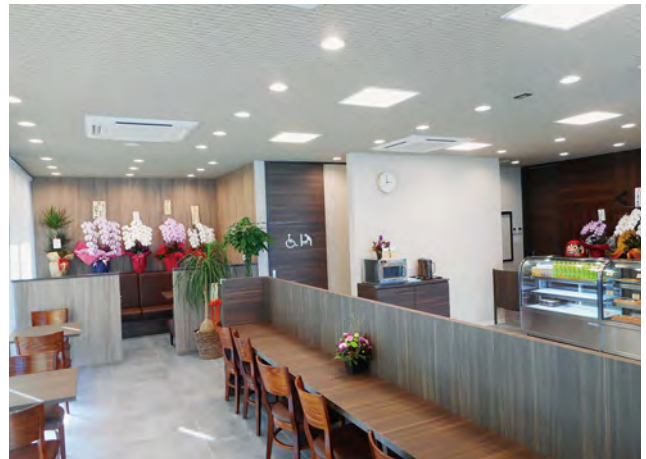
ケービックス(株)・くろまつキッチン(新店舗)がオープンしました



10月7日ケービックス(株)の子会社である邦堂が問屋町一丁目3番地(ケービックス本社跡地)に“くろまつキッチン”をオープンしました。もともと本社兼ケータリング事業部の建物が手狭となったことや西毛広域幹線道路沿いのケービックス本社跡地が空いていたことから、新たな拠点として建築したそうです。

建物面積は約300平米。この中に本社機能と厨房、店舗があり10名のスタッフが勤務しているとのこと。特に厨房はハサップの認証取得に向けた衛生管理態勢を構築し、9月5日からケータリングサービスを開始しました。

店舗の営業時間は弁当販売だけの現在、午前11時から午後3時頃の売り切り仕舞。さらにお弁当のバリエーションを増やし、初めてくろまつを利用されるお客様も



増やしていきたいとのこと。今後は総菜販売も始めるので、夕方まで営業を予定しています。店舗では安全安心を第一に考え、衛生面に十分配慮した方式等を検討。

また、ケータリングは今まで700食だったものを1,500食まで製造能力が高まったため、一般企業様向けの会議用等でお使いいただくお弁当に一層力を入れていきたいとのこと。

今後、お客様の要望をお聞きしながらメニューに反映させるなど、きめ細かいサービスを提供していきたい。また、問屋町は企業数も多いのでおいしい日本料理を提供していきたいとのこと。実際に、昼時に伺ってみると20名座れるイートインコーナーは女性で一杯でしたし、お弁当の評判も良いようでした。

関東甲信越・東北卸商業団地連絡協議会幹事交流会に参加しました



8月10日(金)から11日(土)にかけて、標記交流会が福島県会津若松市にある会津若松卸商団地協同組合を主会場に開催されました。標記交流会には関東甲信越と東北地方の20団地から31名が参加しました。なお、この交流会は、昨年前橋問屋センターを主会場に開催したものです。

はじめに開催団地を代表して会津若松卸商団地(協)山本真一理事長の歓迎挨拶の後、全体協議に入りました。

まず、会津若松卸商団地(協)の概要について、渡辺勲常務理事から説明がありました。会津若松卸商団地(協)

(通称：会津アピオ) は、磐越自動車道・会津若松インターチェンジの西隣にあり、大きく2つ(卸売りゾーンと小売りゾーン) に別れている。現在、組合員は64社、賛助会員8社の合計72社。面積は約20万㎡。アピオとはラテン語で結ぶ・つなぐという意味。また、卸団地の隣にはトラックセンター(協)も設けられ、全国初の複合集積団地となっている。設立は平成4年2月20日と全国で2番目に新しい問屋団地であるとのこと。

引き続き、渡辺常務理事から、平成28年度に実施した当団地の問題点等に関するアンケート調査結果の概

要説明や出席各団地から、それぞれが抱える課題等について意見交換を行いました。中でも組合として保育園を設置したところがいくつかありましたが、園児が予定したほど集まらないなど、設置当初から苦労しているようでした。さらに意見交換会の中で、組合運営や共同事業への取り組みなど貴重な意見を聞くことができたことは大変意義深いものでした。

懇親会では、来賓として室井照平会津若松市長も駆けつけ、酒宴の中で情報交換及び各事務局長との交流を深めることができました。

● ● 組合トピックス ● ●

定期健康診断を実施しました



皆様体調はいかがでしたでしょうか？

組合では、毎年、組合員及び賛助会員各社の役員・従業員の定期健康診断を前橋市医師会の協力を得て実施しており、今年は9月11日(火)・12日(水)、前橋問屋センター会館で行いました。

2日間で19社、171名の方が受診されました。

健康診断は次の10項目です。

①身体測定(視力含む) ②胸部X線デジタル撮影③尿検査(糖・蛋白) ④医師による診察(特定健診問診含む) ⑤血圧測定⑥血液検査(肝機能、脂質、貧血) ⑦血糖検査(空腹時血糖、HbA1c) ⑧心電図検査⑨腹囲測定⑩聴力検査(オージオメータ法他)。また、オプションで大腸がん検診(便潜血検査)・喀痰細胞検査・前立腺がん検査(PSA検査)を追加できます。最近、大腸がん検診・前立腺がん検査を希望する人が



増えており、皆さんの健康への意識の変化が伺えます。

9月末には健康診断結果がお手元に届いていることと思いますので、食生活の改善や適度な運動の実施・継続など、今後の健康づくり(生活習慣病の予防等)にお役立てください。

健康診断は、症状がないうちに異常を見つけて早めに対処してこそ受ける意味がありますので、診断結果で指摘された事項は病院で受診するようにしましょう。

また、毎年の検査結果を保存しておくこと、過去と現在のデータを比較することができますので、自分が受けた検査の記録は、まとめて保存しておきましょう。

1年に1回の定期健康診断は、自分の健康状態を振り返る機会となり、病気の予防や異常の早期発見にも役立ちますので、来年も是非受診してください。

駒田グループが「第8回オートパーツフェスタ」を開催



組合員である群馬ビーエス(株)は、グループ仕入れ先企業28社による「第8回オートパーツフェスタ」を10月2日(火)・3日(水)の2日間、2年振りにニューサンピア(高崎市島野町)において開催しました。

今回のテーマは「CRAFT(クラフト)」。「CRAFT」とは、「手仕事」という意味であり、「CRAFTMAN(職人さん)が手作業で作り上げる」という意味があるそうです。

今回も新商品をはじめとしたゴルフ用品や自転車な



どのブリヂストン製品、最新のカー用品類、人手不足解消のための新機種の機械工具類、クラフトマンシップに富んだハンドツール(手工具)などが紹介されるとともに展示即売が行われていました。

また、メインブースでは、CRAFTMANのための作業場(WORKSHOP)空間が提案され、来訪者の感心を集めるとともに、終日、販売店、お客様や関係企業など多くの方々が来場していました。

前橋まつりに協賛しました

前橋三大まつりのひとつである「前橋まつり」が、10月6日(土)と7日(日)の2日間、中心市街地で開催され(協)前橋問屋センターも協賛しました。

70回目を迎える前橋まつりは、今年も「子供だんべえ・前橋だんべえ踊り」をはじめ「鼓笛吹奏楽パレード

「祇園山車と子どもみこし」「大人みこし」などが盛大に行われました。

まつりに参加する人、応援する人など、街中に溢れんばかりの市民が集まりました。

お知らせ

●代表者の変更

シャープ・マーケティングジャパン(株)ホームソリューション社前橋支店

大淵康充支店長から奥村泰久支店長へ

● 共栄会だより ●

年末・年始行事のお知らせ

例年同様、次のとおり計画されています。多くの会員皆様のご参加をお待ちしております。なお、詳細につきましては、別途会員宛通知いたします。

年末の行事

忘年会

日時 平成30年12月1日(土)午後6時～
場所 伊香保温泉「如心の里 ひびき野」

親睦委員会

日時 平成30年12月2日(日)
場所 伊香保国際カンツリークラブ

年始の行事

新年会

日時 平成31年1月18日(金)午後6時30分～
場所 未定

前橋市文化スポーツ観光部長にお話を伺いました



前橋市文化スポーツ観光部長 川端利保氏

今回は、10月1日に川端利保文化スポーツ観光部長にお話を伺ってきました。

もともと教育委員会に所属していた文化、スポーツを市長部局の観光と一緒にしたのは、観光客を増やし、交流人口の増に結びつけたい、という狙いがあったため。

まず、スポーツのイベントとしてはシティマラソン、クリテリウム（中心市街地の信号を止めて周回コース（3.5km）を廻りスピードを競うレース）、ヒルクライム、赤城大沼白樺マラソンなどがあり、これらのイベントを通じて市外から誘客し、コースの中で前橋の良さを感じてもらおうとともに前橋の魅力を発信してもらいたいという思いもあるそうです。

文化に関しては、今年の8月に「臨江閣」が国の重要文化財に指定され、周辺の公園整備を行うとともに建物本体の修復を行うなど、これまで磨き上げて来た成果といえる。現在、文化財として保存するだけでなく、活用する取り組みに力を入れており、2階の大広間は全国中核市の大会や商工会議所の全国観光振興大会でも使用して、前橋のPRに一役買ったとのこと。

観光面でも、2020年オリンピック、パラリンピックを契機に、国内外からの観光客の誘致策として「ユニークベニュー」というものがあり、この臨江閣が、今年観光庁の利用促進モデル事業の指定を受けた。ユニークベニューとは、会議やレセプションを通常の施設ではなく、博物館や美術館、歴史的建造物などで開催し、参加者にサプライズを演出するという意味。こういった取り組みは、今まで日本になかったが、外国人客は、

こだわりがあって、その地域の歴史文化に触れたい、という希望が強いためだそうです。

赤城山振興は、「NPO法人赤城自然塾」が今年7月に観光庁から日本版DMO（観光地経営の視点に立った地域づくり）の登録を受けるなど、主体となって観光施策を進めていただいている。また、最近の酷暑から、赤城山は市街地と比べてマイナス10℃であることに着目し、フェイスブック等に「赤城山全山冷房中」というキャッチフレーズをあげたことや、近年のトレッキングや登山ブームにより土日は賑わいを見せている。また、冬の結氷した大沼でのワカサギの穴釣りもアクティビティとして人気が出てきているので期待も大きいとのこと。

2020年（オリンピック開催年）4月から6月は、JRのDC（ディスティネーション・キャンペーン）に選ばれたので、赤城山を含めた文化、スポーツ面で積極的な誘客を行いたい。赤城山周辺にも、はとバスや旅行会社のツアーが入ってきており人気となってきている。

また、2020年にはインターハイが群馬県で開催されるが、前橋は空手とサッカーを予定している。青少年に前橋の良さを是非見ていただきたいと思っているとのこと。

オリンピックのホストタウン（事前キャンプ等）に関しては、ハンガリー（柔道、レスリング）は決定しており、先日開催された世界トランポリン大会を契機にベラルーシも検討しているようであり、この他にスリランカなども可能性があるそうです。

最後に、「前橋四公祭」というのがあり、四公とは、江戸時代に、現在の前橋市域内で藩主を務めた酒井雅楽頭家、松平大和守家、秋元越中守家、牧野駿河守家のこと。この4大名家「前橋四公」の魅力を広く発信するためのまつりで、今年で3回目になり、10月7日(日)の前橋まつりに併せて、四家四様の歴史衣装を身にまとった勇壮な行列隊が繰り出す予定とのこと。

このように文化、スポーツ、観光資源を磨き上げることにより、豊かな市民意識を醸成するとともに、交流人口の増に結びつけ、経済効果の向上も計っていきたいと考えているとのことでした。

■ 本部役員会

- 8月24日(金)正午から当会館1階会議室で開催され①組合研修視察について②問屋センター所有の街路灯のLED化について審議した。報告事項として消防設備点検指摘事項の修繕について他6件が報告され承認された。
- 8月31日(金)午前11時30分から当会館1階会議室で開催され①テナントからの要望について審議した。
- 9月19日(水)正午から当会館1階会議室で開催され①テナントからの要望について②問屋センター所有の街路灯のLED化について審議し決定した。報告事項として建築基準法に基づく防火設備の定期検査の実施について他3件が報告され承認された。

■ 委員会報告

■ 広報特別委員会

- 9月18日(火)正午から当会館1階会議室で開催され、前橋問屋センターニュース第292号(H30/11/1発行)について、執筆者及び紙面の割付について協議し、6面とすることで決定した。
次回は、11月13日(火)と決定された。

■ 環境交通委員会

- 9月10日(月)午前11時30分から当会館1階会議室で開催され、参加委員、事務局を二班に分け、路上駐車状況及び環境衛生状況について、団地内を巡視、指導した。

違反駐車状況

東側巡視班 駐車できない場所への違反 2台
西側巡視班 歩道への乗り上げ駐車 1台
駐車できない場所への違反 4台

■ 事務局だより

- 9月3日 前橋問屋センターニュース第291号発行
9月10日 環境交通委員会
9月11日～12日
組合定期健康診断
9月18日 広報特別委員会
9月19日 本部役員会
10月4日～5日
中央会事務局長会研修会
10月6日～7日
前橋まつり
10月19日 建築基準法に基づく防火設備の定期調査
10月24日 本部役員会

■ 編集後記

10月に入ると赤城山の紅葉も始まった。元々地味な色合いの紅葉ではあるが、今年は更に地味な色合いだ。標高の高い所から始まった紅葉情報でも同様で、中には「落ち着いた控え目な紅葉」と表現されている方もいる。夏の猛暑と秋の長雨、そして台風の影響だろうか。11月に入ると紅葉前線が下界に降りてくる。これからの紅葉に期待したい。(Y・H)

前橋問屋センター会館利用のご案内(駐車場完備)

会議・講習会・研修会・展示会等に是非ご利用ください。

会館には貸室が11室あり、数名から350名まで対応可能です。
会議室での物販・飲食(アルコール含む)もできます。

申込み

協同組合 前橋問屋センター TEL027-251-1175(代)

※ 空室状況、利用料金表等の詳細は下記ホームページをご覧ください。

<http://www.maebashi-tc.jp>

ホームページから貸室の「仮予約」もできます。
フェイスブックも是非ご覧ください。

